

私立大学図書館協会 2014 年度第 1 回東地区部会役員会  
議事要録

日 時 : 2014 年 4 月 18 日 (金) 14 : 00 ~ 15 : 45

場 所 : 明治大学 リバティタワー6 階 第 4・5 会議室

出席校 : 会長校 立命館大学 (平野、臼井、高橋)

部会長校 明治大学 (金子、菊池、折戸、山崎)

研究部担当理事校 専修大学 (平野、齋藤)

分科会更新担当理事校 東京都市大学 (坂元)

分科会月例担当理事校 清泉女子大学 (阿部)

東北・北海道地区担当 東北福祉大学 (本間、中塚)

監事校 立教大学 (豊田、大串、市村)

次期部会長校 学習院大学 (中村)

※敬称略

配付資料 :

- ・私立大学図書館協会 2014 年度第 1 回東地区部会役員会 (以下「役員会資料」と記載)
- ・私立大学図書館協会 2014 年度第 1 回常任幹事会 (資料 1)

議事に先立ち、部会長校明治大学より挨拶があった。今年度は次期部会長校の学習院大学が役員会にオブザーバーとして出席する旨の説明があり、出席者の自己紹介が行われた。

議事進行は、部会長校明治大学図書館長が担当した。

議 事 :

[報告事項]

1. 東地区部会関係

2013 年度東地区部会会務報告

部会長校明治大学より、役員会資料 (PP. 4-8) に基づき前回の東地区部会役員会以降の追加情報について報告があった。

2013 年度東地区部会研究部活動報告

研究部担当理事校専修大学より、役員会資料 (PP. 9-11) に基づき前回の東地区部会役員会以降の追加情報について報告があった。

2. 2014 年度第 1 回常任幹事会報告

会長校立命館大学より、2014 年 4 月 11 日 (金) に開催された常任幹事会について、資料 1 に基づき報告があった。

[協議事項]

1. 2013 年度東地区部会決算報告

部会長校明治大学より役員会資料（P. 13）に基づき決算報告がされた。特記事項として以下の説明があった。

- ・通信費について、中間決算報告後に東北・北海道地区担当理事校の廃止に関するアンケートを送付したため、決算額が増えた。
- ・決済専用口座を使用しているため、預金利息が付かず雑収入がゼロであった。

2. 2013 年度東地区部会研究部決算報告

研究部担当理事校専修大学より役員会資料（P. 14）に基づき中間決算報告がされた。特記事項として以下の説明があった。

- ・研究分科会の繰越金の戻入額が確定したため、雑収入に反映されている。

監事校立教大学より役員会資料（P. 15）に基づき監査報告及び東地区部会会計の課題についての報告があった。

3. 2014 年度東地区部会事業計画（案）及び予算（案）

部会長校明治大学より、役員会資料（PP. 16-17※P. 17 は差替え資料）に基づき以下の説明があった。

- ・今年度より部会総会の WEB 案内・申込の導入を予定しているため、通信費（部会総会開催通知発送代）が計上されていない。
- ・2013 年度は東北・北海道地区担当理事校問題のために予算を計上していたが、2014 年度には書類郵送の予定がないため、通信費（宅急便代他）の予算が削減された。

4. 2014 年度研究部活動計画（案）及び予算（案）

研究部担当理事校専修大学より、役員会資料（PP. 18-19）に基づき以下の説明があった。

- ・運営委員会の活動計画として、分科会の増員や地方での研修会など、研究部活動活性化に向けて検討を開始する。
- ・(3) 2)「交流会」の会場は明治学院大学、(5) 研修会の会場は早稲田大学、日程は 10/29、10/30 を予定している。
- ・研修会参加費収入を、一人当たり 3,000 円から 1,000 円に減額し、意見交換会参加者のみから徴収することとした。また、研究会参加費収入も意見交換会参加者のみから一人あたり 1,000 円徴収することとした。
- ・分科会への基本助成金額の増額案を見直し、今まで通りとした。一方特別助成金を増額し、分科会活動へ充てることとした。
- ・部会同様、積極的にメールを使用して案内等を行うことを検討している。

協議事項 1～4 について、異議なく承認された。

5. 次期運営委員と研修委員について

部会長校明治大学より、役員会資料（P. 20）に基づき報告があり、異議なく承認された。

6. 東地区部会総会・館長会・研究講演会の WEB 案内・申込について

部会長校明治大学より、役員会資料（PP. 21-24）に基づき提案があり、2014 年度から WEB 案内・申込を導入することが承認された。

7. 2014 年度部会総会、館長会及び研究講演会の開催（案）について

部会長校明治大学より、役員会資料（PP. 25-36）に基づき説明があった。P. 28 の館長会のご案内（案）について、テーマは「図書館における学修支援と利用者教育」に決定したことが報告された。また、研究部担当理事校専修大学より、PP. 29-30 の研究講演会について、（仮）となっている講演タイトルは発送までに確定するとの報告があった。このことについて、異議なく承認された。

8. 東地区部会役員会の構成変更について

部会長校明治大学より、役員会資料（PP. 37-39）に基づき、アンケート結果について説明があった。アンケート結果をもとに、P. 37 の提案がなされた。

1. 東北・北海道地区担当理事校の廃止と地区ブロック理事校の導入については、提案のとおり部会総会に諮ることが承認された。2. 事務長会、研修会の開催については、今後の役員会や研究部においてさらに内容を詰めてから決定することとし、方向性について承認された。

このことについて、以下のような意見が挙げられた。

- ・選出の目安となる基準（構成人数や規模等）は、候補校が複数となるように考慮すべき。
- ・任期中 2 年続けて会場を提供するのは難しい。

[懇談事項]

1. 東地区部会予算の運用について

部会長校明治大学より、2013 年度監査における監事校からの指摘を受けて、現在部会と研究部の 2 本に分かれている会計を一本化することについて、今後議論を進めていきたい旨の説明があった。

以 上